



Jカフェ +Zoom

～～ JAUW ヒューマンリソース活用プログラム ～～

J A U W が誇る最大のタカラは、会員のもてるチカラです。
 ここには、豊かな経験、広い知見、深い洞察があります。
 一緒に、新しい世界を発見、創出、共有しませんか。

第9回 カズオ・イシグロを長崎で読む

～多彩な語り手と移り変わる視点の意味～

2017年ノーベル文学賞に輝き日本でも愛読者が増えているカズオ・イシグロは、作品はすべて英語で書き、イギリス王室よりナイトの称号を叙任されたイギリス国籍の作家です。名前と風貌から明らかなように日本人を両親に持ち、1959年5才でイギリスに移り住むまで、長崎市内で幼少期を過ごしました。2020年8月被爆75年を迎えた長崎市へ、カズオ・イシグロは短いメッセージを寄せています。その長崎市内にこの3年間に生まれたカズオ・イシグロの複数の読書会に、老若男女の市民と共に素人として参加する講師に、何が見えているのでしょうか？カズオ・イシグロ世界の一隅で、一緒に一時をお過ごしください。

日 時：2021年6月27日（日）14:00～16:00

場 所：Zoom を使ったオンライン開催（コロナ禍のため、**全員 Zoom のみ**になります）

講 師：鈴木 千鶴子氏（長崎支部会員、長崎純心大学客員教授）

募集人数：50名

申 込：6月14日（月）までに

Google フォーム <https://forms.gle/4bHL4YLLZzYJLXz46> より

または、E-mail：j-cafe@jauw.org（Jカフェ専用）でお申し込みください。

振替を確認後、前日までに URL をお知らせいたします。

参加費：1,000円

振込先 ゆうちょ銀行 記号番号 10150-11757481

（他銀行から 普通 〇一八店 1175748）一般社団法人 大学女性協会

アンケート：Google フォーム <https://forms.gle/zxdjxktNuTpsZ45V9>（6月30日まで）



【鈴木千鶴子さんから：お話のポイント】 ミュージシャンを目指していたカズオ・イシグロは、「小説を書き出したのは26～27歳の頃。きっかけは、日本への記憶だった」「日本について書き終わるまで、日本には戻らないと決意しました」、と言う。その語り手は、日本人女性から英国人執事、クローン人間からAIまで多様であり、皆記憶が曖昧など、“信頼がおけない”。そのことと、日本、さらに長崎とはどう関係しているのか、試論を開陳したい。

【プロフィール】 1945年生。1968年津田塾大学学芸学部英文学科卒；1971年ICU大学院教育学研究科修士課程修了；1978年純心女子短期大学専任講師、1988年同教授、2001年長崎純心大学人文学部英語情報学科長；2006年長崎大学大学院医歯薬総合研究科博士課程修了；2016年～長崎純心大学客員教授。新潟県、宮城県、長崎県、新潟県、東京都、長崎県に居住；英語学、教育学、社会医学を学ぶ。



- ★ 生涯学習委員会では、JAUW の人材を活かす活動を企画。他薦・自薦大歓迎！
- ・「災害の記憶をつなぐ」記録集：原稿募集中 ジェンダーの視点から、災害に関する経験や提言を収集
- ・Jカフェ：「あの人にあの話を聞きたい」（経験談、趣味の紹介、専門知識など）
- ★ 生涯学習委員会 J カフェ専用メールアドレス：j-cafe@jauw.org

